

令和元年11月遠野市議会臨時会会議録（第1号）

令和元年11月19日（火曜日）

16 番 新 田 勝 見 君
 17 番 佐々木 大三郎 君
 18 番 浅 沼 幸 雄 君

議事日程 第1号

令和元年11月19日（火曜日）午後2時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 議案第44号 令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）
- 第4 議案第45号 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

欠席議員

なし

事務局職員出席者

事務局 長 新 田 順 子 君
 事務局 次 長 千 葉 芳 治 君
 主 査 及 川 憲 司 君

本日の会議に付した事件

- 1 日程第1 会議録署名議員の指名
- 2 日程第2 会期の決定
（議会運営委員長報告、採決）
- 3 日程第3 議案第44号 令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）
（提案理由の説明、質疑、討論、採決）
- 4 日程第4 議案第45号 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
（提案理由の説明、質疑、討論、採決）
- 5 閉 会

説明のため出席した者

市 長 本 田 敏 秋 君
 副 市 長 飛 内 雅 之 君
 総務企画部長 佐 藤 浩 一 君
 総務企画部 菊 池 享 君
 経営企画担当部長 兼健康福祉部長兼健康福祉の里所長 兼地域包括支援センター所長 鈴木 英 呂 君
 子育て応援部長兼 総合食育課長 佐々木 一 富 君
 産業部長 中 村 光 一 君
 産業部プロジェクト担当部長 兼六次産業室長 阿 部 順 郎 君
 環境整備部長 奥 寺 国 博 君
 会計管理者兼会計課長 鈴木 純 子 君
 消防本部消防長 菊 池 久 人 君
 市民センター所長 小 向 浩 人 君
 市民センター文化振興担当部長 石 田 久 男 君
 教育委員会事務局教育部長 澤 村 一 行 君
 選挙管理委員会委員長 菊 池 光 康 君
 教 育 長 菊 池 広 親 君
 代表監査委員 佐 藤 サヨ子 君
 農業委員会会長 千 葉 勝 義 君

出席議員（18名）

- 1 番 小 松 正 真 君
- 2 番 佐々木 恵 美 子 君
- 3 番 菊 池 浩 士 君
- 4 番 佐々木 敦 緒 君
- 5 番 佐々木 僚 平 君
- 6 番 小 林 立 栄 君
- 7 番 菊 池 美 也 君
- 8 番 萩 野 幸 弘 君
- 9 番 瀧 本 孝 一 君
- 10 番 多 田 勉 君
- 11 番 菊 池 由 紀 夫 君
- 12 番 菊 池 巳 喜 男 君
- 13 番 照 井 文 雄 君
- 14 番 荒 川 栄 悦 君
- 15 番 安 部 重 幸 君

○議長（浅沼幸雄君） 御苦労さまでございます。

開会に先立ち、市民憲章朗唱を行います。

起立願います。

遠野市民憲章

わたくしたちは、悠久の時を越えて継承して

きた美しい郷土と、伝統ある文化に誇りを持ち、このすばらしい宝玉を、さらに「永遠の日本のふるさと遠野」として、創造・発展させるため、ここに、この憲章をさだめます。

わたくしたちは

1 豊かな自然を愛し、平和で住みよいまちをつくります。

1 心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくります。

1 創意をあつめ、産業と交流の元気なまちをつくります。

1 恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちをつくります。

1 共に考え支えあって、未来を望む協働のまちをつくります。

午後2時00分 開会・開議

○議長（浅沼幸雄君） 御着席ください。

これより令和元年11月遠野市議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

諸般の報告

○議長（浅沼幸雄君） 日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。

市長から議案の送付がありましたので、お手元に配付しておきましたから御了承願います。

次に、監査委員から例月現金出納検査の結果についての報告書1件を受理いたしましたので、その写しをお手元に配付しておきましたからご了承願います。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（浅沼幸雄君） これより、本日の議事日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において、15番安部重幸君、16番新田勝見君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

本件に関し、議会運営委員長の報告を求めます。議会運営委員長菊池由紀夫君。

〔議会運営委員長菊池由紀夫君登壇〕

○議会運営委員長（菊池由紀夫君） 命によりまして、議会運営委員会の御報告をいたします。

本日、午後0時30分から議会運営委員会を開催し、令和元年11月遠野市議会臨時会の会期を本日1日間とすることを決定いたしました。

会期内の予定表については、既に議員各位のお手元に配付布しておきましたが、若干の説明を加えさせていただきます。

会期の決定後、議案第44号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）の提案理由の説明が行われます。その後、議案第44号についての質疑、討論を行い、採決を行います。

次に、議案第45号教育委員会の委員の任命について同意を求めることについての提案理由の説明が行われます。議案第45号は人事案件なので、直ちに採決を行います。

なお、議案第44号の質疑は、自席において1人3回までとなっておりますので、念のため申し添えます。

議員各位の御賛同と御協力をお願い申し上げ、議会運営委員会の報告といたします。

○議長（浅沼幸雄君） お諮りいたします。ただいまの議会運営委員長報告のとおり、今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 御異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 議案第44号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第3、議案第44号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

本案について、提出者の説明を求めます。飛内副市長。

〔副市長飛内雅之君登壇〕

○副市長（飛内雅之君） 命によりまして、令和元年11月遠野市議会臨時会に提出いたしました議案第44号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）の提案理由を御説明いたします。

令和2年4月1日から契約を履行することとしたい、行政事務統括業務委託契約について、本年度中にその契約事務を進める必要があることから、債務負担行為を追加しようとするものであります。

以上で説明を終わります。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（浅沼幸雄君） これより質疑に入ります。質疑ありませんか。10番多田勉君。

○10番（多田勉君） 今回の、この議案第44号一般会計補正予算の第3号ですが、事前の説明によりまして臨時職員等の転籍一括引き受けの方式、こういうことでの概要説明をいただいておりますけれども、現在この制度に移行する前の状況については正職員が336名、そして臨時・非常勤職員が106名というふうなこれは見込み、という数字でございますけれども、これを、正職員はそのままでありまして、その臨時・非常勤職員の106名から運営部門に委託業者の運営部門のほうに49名を移行するという内容の説明を受けておりますけれどもこの、あくまでも、これは財政効果を期待すると、そういう意味での49名の試算なのか、その辺の確認をさせていただきたいと思っております。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） 質問にお答えいたします。

今回の包括アウトソーシングに関しましては、一つの目的として行政事務の効率化であります。

これに関しましては、繁閑期、忙しい時期とか季節的な時期によりまして、業務の内容が違いますので、そのときに別ないろんな業務ができるような形で進めていきたい、という効率化、事務の効率化を図っていきたいというのがまず

一つあります。

2つ目が、人材確保と地域雇用安定化であります。

これに関しましては、現在でも臨時職員等を募集しましても応募がないような状況もあります。そこでこのような形で包括アウトソーシングすることにより、事務を満遍なくできるような形にしていきたいというものと、臨時職員であろうとも時期的なものが決まっております。最大でも1年、例えばまた別なところに動かなければならないということになりますけれど、包括アウトソーシングすることにより、毎年同じ職員がその会社において、仕事ができる形になります。そのことによって、行政サービス、市民へのサービス等もつながると思いますし、あとそういう臨時職員がずうっと同じ会社で働けるということでの地域雇用の安定化にもつながるというものもありますので、財政的効果もありますけれど、そちらのほうの市民サービスの向上、あと雇用確保、安定確保の上の方が大きいものであります。

以上であります。

○議長（浅沼幸雄君） 10番多田勉君。

○10番（多田勉君） ただいまの説明でおよそ理解をするところでありますけれども、遠野市としての業務、そういった全体の総合的な見地から正職員の勤務発令が、私は、ふだん目にする中では非常に多い状況であるんじゃないかなというふうに思いますが、そういったところで果たしてこの49名という、見込みでありますけれども、この後会計年度の任用職員が57名ということを見込んでいるようですが、こういった状況の中で正職員の兼務の円滑な出向、そういったものが十分に図られるのかということが一つ、私、心配なのですが、その勤務発令の状況等も踏まえながら、私は、十分検討なさったとは思っておりますが、その辺の考えをお伺いをいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） お答えいたします。

兼務発令が多いというのは、確かにそのとおり、兼務発令している実態はあります。

これは、その時期時期によりまして、どうしても行わなければならない事務とかがありますので、限りある人数の中でその事務を執行していく上においては、兼務発令も行っている状況にあります。

その辺を踏まえても、今、包括アウトソーシングをすることによりまして、臨時職員が今まで1つの課で行っている事務、それが契約の内容によりましていろんな課の事務もすることができるようになります。そういうことで、正職員の定例化している事務に関しましても、そういう包括アウトソーシングの事務に移行することも可能だというふうに考えております。そういうところで、正職員の事務の効率化、専門的なところを発揮していきたいというふうに考えておりますので、あわせてその辺を進めていきたいと思っております。

○議長（浅沼幸雄君） 10番多田勉君。

○10番（多田勉君） やはり市民サービスが基本だというふうに、先ほどの答弁でもありましたけれども、そういったところを考えたときに、やはり職員の努力というのは私は高く評価しておりますけれども、市として本当に十分な市民サービスを供給するという観点からある程度の基準、事務事業に対する考え方、もちろんそいつは考えてらっしゃると思うのですが、こういったところから私は、今後遠野市の安定的な事務事業の執行を期待する上では大事なことではないかなというふうに思うのですが、この後遠野市の職員が、今336名、今後これが果たして、兼務発令の多い中で、ふえるのか、減っていくのか、多分減っていくという予想になろうかと思えますけれども、ただその中でも補充をしていかなければならない、維持できないというふうな状況にもなると思うんですが、そういったところでの遠野市としての取り組み、考え方などについて、最後となりますけれども、お伺いをいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） お答えいたします。

今後、職員に関しましては遠野市の人口が減る、見込みというか、将来にわたっては減る予想としております。そういうことで、職員に関しましても減らさざるをえないというふうな状況であります。

そこにおいて事務事業に関しましては、今までも余り減っていないような状況でありますので、いかに効率的に行うか、そして包括アウトソーシングするものはする、あとはクラウドできるものはする、そして機械的なものを使って行うものはそちらのほうで、機械のほうで仕分けとか行うとか、いろんな工夫を今後していかなければならないというふうに考えております。その中で今回包括アウトソーシングを行うということで提案してますけれども、それらを含めて、あと、正職員の事務を含めても効率的な事務執行を考えての市民サービスを今後念頭に置きながら進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 他にございませんか。
17番佐々木大三郎君。

○17番（佐々木大三郎君） この包括アウトソーシングによって、今現在イベントなんかあるときにはすごく忙しい思いをされたり、あるいは税金の確定申告時には職員も大変な思いで今作業をしていただいているわけなんですけれども、要は繁忙期と閑散期多く踏み切られます。

したがって、このアウトソーシングによって、そういった稼働の平準化そのようなものが図られるのかどうか、効果として、その点について伺います。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） 仕事の平準化に関しましては、先ほど話しましたとおり时期的なものが結構あります。例えばイベント等になりますと、春から秋にかけてのイベント等がよくありますし、例えば税の関係の申告に関しましては、冬がメインになります。そういうイベント等の関係の部分の仕事に関しましては、

春から秋の部分で行っていただき、税務の関係の申告に関しては冬に関してはそちらのほうを行ってもらおうというような平準化は、可能というふうに考えております。実際に、昨年度申告に関しましても、臨時職員の募集を行ったんですけど、なかなか人が集まらなくて、苦勞したという思いがあります。その辺をうまく平準化、今後この包括アウトソーシングによってできるというふうに思っておりますので、その辺をうまく持っていければなというふうに考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 17番佐々木大三郎君。

○17番（佐々木大三郎君） ということは、将来的には職員定数の、今減らす、削減ということも期待できるということでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） お答えいたします。

その辺の、現在持っている正職員の事務に関しましても、どのような内容かということで今調査しているところでもあります。その辺で定型的な仕事に関しましては、そういう包括アウトソーシングできる内容に関しましては、そちらのほうにお願いしてやっていただくということも考えております。そういうことによって、職員の定数減に対応するというのも一つの考えというふうに思っております。

○議長（浅沼幸雄君） 他にございませんか。

17番佐々木大三郎君。

○17番（佐々木大三郎君） もし、今のような思いがあるとするれば、この基幹業務のクラウド化とか、あるいはRPA、こういったシステムの導入というの、前向きに導入することを検討しなきゃいけないと思うのですが、その点は考えているのでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） お答えいたします。

もちろん、クラウドとかそういう機械的な、あとAIとかを活用して今後事務の執行、効率化を考えていかなければならないというふうに

思っております。そういうことでの検討も現在進めているところであります。

○議長（浅沼幸雄君） 9番瀧本孝一君。

○9番（瀧本孝一君） 今、同僚議員がクラウドとかRPAということも考えているのかというお話でしたが、まさに職員が減る中での窓口改善、これからどんどん大事になってくると思えますけれども、先般総務常任委員会でRPA等を使った窓口業務改善ということで、行政スタートしてきた市がありますけれども、その中で、なかなか職員がRPAは難しいということも聞かされてきましたが、私がお尋ねしたいのは、この委託業者に転籍される職員の業務の指揮命令は市としてできるのかできないのか、また業者からの指揮命令になるのか、そこを確認したいと思えます。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） お答えいたします。

包括アウトソーシングする業務の内容に関しましては、契約事項の中に記載しての業務というふうな形になります。実際に、そういう包括アウトソーシングをしての会社から来ている職員に対しては、市の職員が直接的に指示することはできないことになっております。ですので、そういう契約の中で動いてもらう、また指示する場合におきましては業者側の総括管理責任者、あとは業務責任者という方がいることになっておりますので、その人たちとの協議した上で調整ということの指示という形になります。

○議長（浅沼幸雄君） 9番瀧本孝一君。

○9番（瀧本孝一君） ぜひそこら辺をしっかりと契約していただいて、業務に支障のないようにしていただきたいと思えますけれども、職員の雇用の仕方が来年から変わるということで県内でも全国的にもこういう包括アウトソーシングが一斉に始まる場所が多いのではないかなと思えますが、業者は、公募、プロポーザルということですけども、それへの心配はないですか。例えば、応募してこないとか、条件に合わないとか、そういった心配はないのでしょうか。

か。

また、県内では他市の状況等は調査しているのか、その辺についてお尋ねします。

○議長（浅沼幸雄君） 総務企画部長。

○総務企画部長（佐藤浩一君） お答えいたします。

県内におきましては、現在、ことしの4月から包括アウトソーシングをしているところが1市あります。そのほかに、来年度4月1日からっていうところを検討しているところが何市かある状態になっています。その中におきまして、ほかの市のところにも何社かそういう業者から問い合わせとかある状況ですし、私たちもそういう業者から詳細なことを確認しながら動いているところもありますので、特に問題なく応募してくれるものというふうに思っております。

○議長（浅沼幸雄君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第44号については、会期規則第37条第3項の規定により、委員会への付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 御異議なしと認めます。よって、議案第44号については委員会への付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。反対討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより議案第44号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）についてを採決いたします。採決は、表決システムにより行います。

本案は原案のとおり決することに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 以上で、表決を締め切ります。

採決を確定します。賛成全員であります。よって、議案第44号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第3号）は、原案のとおり決定いたしました。

日程第4 議案第45号教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第4、議案第45号教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについてを議題といたします。

本案について、提出者の説明を求めます。飛内副市長。

〔副市長飛内雅之君登壇〕

○副市長（飛内雅之君） 命によりまして、令和元年11月遠野市議会臨時会に提出いたしました議案第45号教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについての提案理由を御説明いたします。

本件は、現在教育委員会の委員であります千田由美子委員の任期が令和元年11月25日で満了となるので、同氏を再び任命しようとするものであります。

住所遠野市小友町5地割133番地、氏名、千田由美子、生年月日、昭和42年11月20日。

以上で説明を終わります。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（浅沼幸雄君） お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第45号については、人事案件でありますので、会議規則第37条第3項の規定により、議事の順序を省略し、直ちに採決をいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 御異議なしと認めます。これより採決いたします。お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第45号教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについては、これに同意することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（浅沼幸雄君） 御異議なしと認めます。よって、議案第45号教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについては、これに同意することに決定いたしました。

閉 会

○議長（浅沼幸雄君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じ、令和元年11月遠野市議会臨時会を閉会いたします。御苦労さまでした。

午後2時27分 閉会